

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 山陽女学園高等部 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例: 小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 738-8504

広島県廿日市市佐方本町 1-1

E-mail sanyo-jogakuen.ed.jp

Website _____

幼児児童生徒数 男子 0 名 女子 460 名 合計 460 名

幼児・児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

①国際交流に関わる活動 ②ボランティア活動 ③平和学習
を行った。

①国際交流に関わる活動

国際交流活動として、カザフスタン、タイ、フィンランドより留学生を受け入れました。在校生と通常のクラスで学習し、年間行事にもすべて参加しました。また、校外においても様々なイベントに参加し、文化交流に貢献しました。さらに日本語スピーチコンテスト「世界平和弁論大会」に出場し、母国や平和について発表しました。

②ボランティア活動

生徒会からの発信として、本校最寄りの駅周辺で清掃活動を行っています。

本校生徒の多くが利用している電車の駅は本校の名前が入っているものでもあり、大切な駅です。

電車、駅、職員の方への感謝とともに、地域へ少しでも貢献したいという生徒自身の思いをこめて、清掃しています。

③平和学習

平和学習の一環として、呉市海事歴史科学館や第一術科学校を訪れ、平和について学びました。

また、広島平和祈念公園において「碑巡り」を実施しました。原爆資料館での学習に加え、被爆者の語り部の方から貴重なお話を聞くこともできました。

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 1 生徒会活動)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

国際交流に関しては学校全体で取り組んでいる。特に留学生の受け入れや活動への支援は毎年力を入れている。本校からの短期・長期留学を希望する生徒への指導や支援も年間を通して取り組んでいる。様々な海外研修や留学などを奨励し、事前の指導を行っている。また、ボランティア活動においては、生徒会だけではなく、地域の呼びかけや募集に各自応募し、個人としても多くの活動に参加している。平和学習は主に高等部2年生の学年団として取り組み、学びを深めている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

学校行事、および学年別の活動として、年間行事に組み込んでいる。また、生徒会からの発信も具体的な活動につなげていっている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

活動内容はホームページや学校説明会、および保護者会通信(年4回程度発行の冊子)などで紹介している。多くの活動は地域のタウン誌などに掲載されている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

日本語スピーチコンテスト「世界平和弁論大会」において、広島市留学生会館と協働し行っている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

様々な国々からの留学生が常に在籍し、また本校から留学する生徒も多い。歴史や文化が異なる同世代との交流はその個人だけでなく、クラスや学校全体へよい影響を及ぼし、大きな活力となっている。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

平成29年度と同様。